

令和6年1月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和6年1月22日(月)13時30分、下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館大会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

山田 貞己	教育長
田中とし子	委員
西堀 政幸	委員
宮内 慎也	委員
西川 紀栄	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

佐々木 雅昭	学校教育課長
平川 博巳	生涯学習課長
土屋 大祐	学校教育課参事
増田 義和	学校教育課 課長補佐兼こども育成係長
中堀 啓司	生涯学習課 社会教育係長
齋藤 祐樹	学校教育課 学校教育係長
牧田 浩一	学校教育課 主事

本会議録調製者は次のとおりである。

牧田 浩一	学校教育課 主事
-------	----------

1 開会

13時30分 教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に 宮内 慎也 委員を選出。

3 12月定例会会議録承認

事務局より報告、承認。

4 教育長報告事項

1月事業報告及び2月事業計画について、学校教育課、生涯学習課長から資料に基づき説明。

小学教員競争率最低 22年度試験2.3倍

・2022年度の実施した公立小学校の教員採用試験の競争率の記事です。文科省調査の結果、5年連続過去最低となりました。中高や特別支援学校を含めた平均も3.4倍で最も低かったという報告です。大量採用時代の教員が退職の時期を迎え、採用が増えたことが要因だとしています。学校現場の捉えでは、多忙化で教職を敬遠する学生が増えたとする見方もあります。20の自治体で2倍を切っているようで、秋田県と大分県では、共に1.3倍ということです。中学校4.3倍、高校は4.9倍です。

部活、やりたい先生で 『顧問拒否』支援へ団体

・部活動の地域移行に関する記事です。地域移行に社会の期待はあるようですが、現時点では移行後の方針が決まっておらず、試行錯誤の段階です。検証していく課題は山積みです。2月26日に、県の部活動地域移行に係る連絡協議会があるので市からも指導主事、係長が参加し、2回目の「部活動在り方検討協議会」を開催する予定です。

石川・能登震度7

・1月2日には日航機と海上保安庁の機体が衝突する大きな事故もありました。被害状況は皆さんにも毎日のように情報が入ってきますのでご承知かと思いますが、1日午後4時10分頃発生しました。初詣も済み、これから親族団らんという時間に発生しましたので、全く人ごとに思えませんでした。緊急時の多くの教訓を伝えてくれます。

第21回伊豆新聞社杯南豆ソフトテニス大会、全国暴力追放運動標語、日本空手協会
県東部大会、全国暴力追放運動標語、人権作文コンテスト

・ソフトテニスで男女それぞれベスト4に入る下田中の生徒もおおり、2月の本戦に勝ち進んでいます。また、空手でも県東部で組み手で優勝するなど活躍しています。標語では、下田中1年の勝亦さんが「そのバイト 暴力団の 受け子かも」という闇バイトへの注意を啓発する内容で、優秀賞をいただいています。人権作文コンテストでは、下田地区入賞10人が選ばれています。

「下田から団体戦出場を」サーフィンのプロリーグ大野チェアマン来訪

・初代のプロリーグチェアマンに就任した大野修聖さんの記事です。パリ五輪の代表監督候補として選手の育成、指導に当たっています。地域振興に励みたいということです。

高校バレー 下田男子東部制す 1年生大会「チームワークで勝利」

・平均身長で劣るチームが、東部優勝。下田中の金指君がキャプテンを務めたそうです。

大谷クラブで野球しようぜ

- ・下田市にも1月16日に届きました。

対象506人未来への飛躍誓う 賀茂6市町二十歳祝う式典

- ・下田市での開催にはご出席いただきありがとうございました。落ち着いたよい式典であったと思います。能登半島地震のこともあり、現地への思いも馳せながらのよい雰囲気の中であったと感じています。

社説 教員の働き方改革 豊かな学びの大前提だ

- ・教員がやりがいを感じ、生き生きと教壇に立つことが子どもたちが個性を發揮し、生き生きと学ぶことの大前提であると主張しています。採用試験の倍率の低さ、教員不足の実態、空き時間なしの勤務の実態、残業時間の上限週45時間を越えている教員の割合、精神疾患の実態、相次ぐ不適切な対応、これも多忙化で自己を失っている実態からかとも指摘しています。性暴力、性犯罪の処分の高止まりなど、教員の負担軽減に教育委員会は知恵を絞って欲しいとしています。

賀茂地区小中で始業式

- ・インフルエンザの罹患者増加を抱えながらの始業時期でした。

気持ち引き締め筆運ぶ

- ・朝日小学校の書き初めの様子です。今月末には賀茂地区書き初め展があると思います。

秋山選手ら下田で自主トレ 学童チーム80人に指導、交流

- ・翌日にはお帰りになりましたが、1月5日から自主トレで下田入りをして約2週間の滞在でした。

県内子どものネット利用

- ・2022年度の県教育委員会のネット依存度判定システム調査です。インターネットを起因とする子どもたちの様々な行動、表れが分かります。学校現場で苦勞する担任や、支援員などに様子を聞くと、このような表れが顕著に報告されるのではないかと想像できます。

記事はございませんが、先ほど参事から話がありましたとおり、デジタルトランスフォーメーションの推進に向けた連携協定が結ばれています。AKKODiS コンサルティングとIRODORIという地方創生における企業と自治体間の連携を手がける会社です。下田市の職員だけではなく、学校の教員、地域住民のデジタル教育などを手がけることになると思います。学校もGIGAスクール対応でICT関係の技術的なことを学びたいというニーズがあります。IT技術だけでなく、小中学校の連携に対して一役も二役も買ってくれるのではと期待しています。

また、大塚製薬との協定も結んでいます。例えば熱中症対策や健康づくり、スポー

ツ振興、防災対策といった学校の教育ニーズに応えられる教材をたくさんもっていますので、今後の教育活動に生かされるのではと思います。この大塚製薬、AKKODiS との三者協定は先日の校長会でも紹介しています。

伊豆縦貫道に係る大成建設や三菱地所などが先日、教育委員会に来てくださいました。地域連携に力を入れているから、是非学校に紹介していただけないか、という話でした。その話も校長会で紹介しました。地域連携の協力者がたくさんいるなどと思います。

ロープウェイで卒業記念集会をどうですかと紹介がありました。佐々木課長がパンフレットを作成してくれて、こちらも校長会で紹介しました。卒業する6年生を対象にロープウェイの乗って上まで行き、綺麗になったレストランでイベントができますというものです。おそらく何校かが6年生ロープウェイに向けて、寝姿山の上で色々計画を立てる方向に行くのではと思います。

下田商工会議所のぺるりんが、能登半島地震の義援金募金活動ということで各学校に募金したものを取りに行くということを考えているようです。

何か質問、ご意見等ございますでしょうか。

全委員 特になし。

教育長 特になしとのことで、教育長報告事項を承認とさせていただきます。

5 議事

- (1) 議第1号 下田市中学生自転車損害賠償保険等加入に係る補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について

学校教育係長 議第1号 下田市中学生自転車損害賠償保険等加入に係る補助金交付要綱の一部を改正する告示について。5ページをお願いします。議第1号 下田市中学生自転車損害賠償保険等加入に係る補助金交付要綱の一部を改正する告示について説明させていただきます。下田市中学生自転車損害賠償保険等加入に係る補助金交付要綱の一部を改正する要綱を別紙6ページのとおり、定めることについて、教育委員会の承認を求めるものでございます。今回の要綱改正でございますが、対象者を拡大し、対象経費の計算を簡素化することにより当該補助金の利用促進を図るためでございます。

1枚めくっていただいて6ページから11ページが今回の改正に係る改め文、12ページから15ページが新旧対照表になります。それでは要綱改正の内容につきましてご説明申し上げます。内容につきましては、12ページからの新旧対照表をご覧くださいと思います。左側が改正前、右側が改正後のものとなっております、アンダーラインが引いてある部分が今回の改正箇所でございます。まず、第2条第4号を削るもの。第3条中「交付対象者」を「交付の対象となる者（以下「補助対象者」という。）に改めるもの。次に第5条第1項中「1世帯につき」を

「中学生1人につき」に、「に2分の1を乗じて得た額とし、年額1,000円を限度とする」を「の額とし、年額1,000円を限度とする。」に改め、「する」の次に

「ただし、複数の中学生が同一となる自転車損害賠償保険等の契約内において被保険者又は被共済者であるときは、補助対象者である保護者1人につき1,000円に、当該中学生の数を乗じて得た額と補助対象経費のいずれか低い額とする」を加えるもの。第11条中「市長が」を削るもの。

13ページをお願いします。様式第1号を次のように改める。様式第1号なかほど3 補助金申請・請求額（注）中、「は、1,000円です。ただし、自転車損害賠償保険等保険料の額が2,000円に満たない場合はその金額の半額を記入してください。」を「額は生徒1人あたり1,000円です。ただし、複数の生徒が同一の契約内にいるときは、生徒の数に1,000円を乗じた額と支払保険料いずれか低い額となります。」に改めるもの。14ページ、15ページをお願いします。様式第3号及び様式第4号を次のように改める。「教示」以下を削除するものでございます。11ページへお戻りください。附則でございますが、この告示は令和6年4月1日から施行するものでございます。

以上大変、雑駁ではございますが、事務局からの説明を終わらせていただきます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

教育長 　　ただいまの説明に対して、質疑等ございましたらお願いします。

田中委員 　　改正前は補助金の額が補助対象経費の2分の1を乗じて得た額とし、年額1,000円を限度とするとあります。例えば3,000円掛かったとして、2分の1を乗じると1,500円ですよね。1,500円実際に掛かっているとしても1,000円までということですね。改正後について具体的な数字で説明していただけますか。

学校教育係長 　　今までは1世帯上限1,000円でしたので、例えば3,000円で2人の子が加入していた場合も1,000円でした。なおかつ、3,000円で2分の1だから1,500円という計算が必要でした。今度は生徒1人あたりとなります。よって3,000円で2人加入していた場合、1人あたり1,000円ですので2,000円をお支払いします。自転車損害賠償保険は1,890円で何人でも加入可能というものが主流のようです。その場合は2人だったら保険料と比べていずれか低い方ということで、1,890円の保険料の満額をお支払いします。2分の1を乗ずる計算も不要となります。

田中委員 　　必ず1,000円の補助金はもらえるということですね。

学校教育係長 　　1人あたり990円といった保険がない限りはそういうことになります。

教育長 　　その他質疑、意見等ございますか。

全委員 特になし。

教育長 異議なしということで議第1号 下田市中学生自転車損害賠償保険等加入に係る補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について原案のとおり承認することで決定しました。

(2) 議第2号 令和6年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針について

学校教育課参事 議第2号令和6年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針について、説明させていただきます。

令和6年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針を定めることについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第1項第3号の規定により、別紙のとおり教育委員会の承認を求めるものです。提案理由は、令和6年度の教職員の人事異動の基本方針を定め、基本方針に基づいた人事異動を静岡県教育委員会に内申するもの。

別紙5ページをご覧ください。人事異動の時期になりましたが、未来を切り拓く志をもち、たくましくしなやかに生きる児童生徒を育むために、人事異動を適正に進めていきたいと考えています。1、2、3とありますが、ポイントをお話しします。これまでと大きく変わるものではありませんが、大事なことを抑えながら進めてまいります。

ひとつめは「教育活動の充実」として次の4点を掲げました。

(1) 子ども一人ひとりの主体的な学びの実現と、多様性を認め合う学校づくりに努めます。

(2) 一人ひとりの異動希望を尊重しながら、教職員一人ひとりのよさや可能性を生かした配置に努めます。

(3) チームとして機能するように、管理職及び教職員の配置をします。

(4) 若手・中堅・経験豊かな教職員を適正に配置します。

次に、2. 「教職員の資質の向上」として、次の4点を掲げました。

(1) 計画的な広域交流を進めます。

(2) 新採用等、状況が異なる教職員がいる中でも色々な経験を積めるよう配慮した配置を進めます。

(3) 視野を広げるため、4地区間(下田・東賀・南伊豆・西豆)での交流を進める中で、特別支援学校、他地区、異校種、行政機関等を考慮した異動を計画的に行います。

(4) 静東教育事務所や総合教育センター、教職大学院や海外等への派遣を積極的に進めます。

最後に3. 「持続可能な組織づくり」として、次の4点を掲げました。

(1) 安心・安全な教育環境づくり、協働性溢れる学校づくりを推進できる教職員を意図的に配置します。

(2) 特別支援教育の後継者育成を進めます。

(3) 学校をリードする人材の登用、育成を進めます。

(4) 女性、若手の登用を進めます。

(5) 校長先生がリーダーシップを発揮して特色ある教育活動を推進できるよう、適切な在学期間にて人事異動を行います。

以上、よろしく申し上げます。

教育長 ただいまの説明に質疑、意見等ございましたらお願いします。

全委員 異議なし。

教育長 異議なしとのことで、議第2号 令和6年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針については原案のとおり承認することに決定しました。

6 協議会報告事項

教育長 事務局から協議報告事項がありましたらお願いします。

学校教育課参事 インフルエンザとコロナが一度収まりかけましたが、この季節になると流行しまして、インフルエンザの感染力の強いなあというのが正直なところではあります。今日も稲生沢小学校の1年生と3年生、下田小学校の特別支援学級がコロナで学級閉鎖をしています。学校も感染が危ないと思ったら主体的に判断をして教育委員会に連絡をくれますので、そこで学校医とも相談しながら学級閉鎖等、必要な時にかけるようにしています。先週下田中学校で広がり、それが少し収まってきて、今は稲生沢小学校と下田小学校で少し見られるという状況です。こちらも1日ずつの学級閉鎖である程度収まってくると思っています。様子を見ながら対処していきます。

教育長 河津下田駅伝も下田中学校、河津中学校、松崎中学校が参加予定でしたが、インフルエンザの流行で危なかったんです。子どもたちは参加したいとのことだったので、その思いを尊重して何とか参加する方向でしたが、雨で中止となりました。

7 その他

教育委員会2月定例会を2月20日(火)13時30分から開催。会場は下田市立中央公民館中会議室。

8 閉会

1月定例会 1月22日(月)13時30分開会。

教育長 14時30分に閉会を宣す。

会議録署名人